

文部科学大臣杯

第44回全日本中学ボウリング選手権大会

開催要項

- 主催：公益財団法人全日本ボウリング協会
後援：スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本オリンピック委員会 愛知県
公益財団法人愛知県スポーツ協会 稲沢市 稲沢市教育委員会
稲沢市スポーツ協会
- 協力：日本ボウリング機構（JBO）
- 主管運営：愛知県ボウリング連盟
- 開催月日：2021年1月9日（土）～11日（月祝）
- 会場：稲沢グランドボウル（公競No.122-64） BW116L
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131
- 競技種目：男子・女子別個人戦（競技方式：デュアルレーン方式）
競技方式：デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。
- 競技内容：予選 男子・女子とも予選9ゲームを行い（1ゲームごとにレーン移動）その合計得点により上位男子18名、女子18名が決勝戦に進出。（参加人数により変更の場合あり）
決勝 決勝では更に3ゲームの競技を行い（1ゲームごとにレーン移動）、その合計12ゲームの総得点により、男・女別の選手権者と順位を決定する。
- 競技規則：JBC選手権競技会規程並びにJBCボウリング競技規則を適用する。
同位の裁定：予選・決勝において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
ただし、決勝において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。
- 参加資格：2020年度JBC登録会員で、中学校に在籍する満15歳未満の者（2020年4月1日現在）で各連盟より推薦された者に限る。
- 参加割当：事前の参加希望人数調査に基づき、別紙の通りとする。
- 褒賞：優勝～第8位 賞状、メダル（男・女別）
※男・女優勝者に文部科学大臣杯（持回り杯）授与
※加盟団体表彰（男・女優勝者が所属する加盟団体）
ハイゲーム賞・ハイシリーズ賞 男・女別（予選9ゲームを対象）
参加賞 参加者全員に贈る
- エキシビジョン：男・女優勝者を対象にエキシビジョンマッチを行う。（※詳細は後日）
- 施設使用料：1名 10,800円（JBC負担5,800円、参加者負担5,000円）
- 申込締切：2020年12月15日（火）厳守

申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各加盟団体で取りまとめ、下記申込先へ費用を添えて申し込むこと。参加申込一覧表・送金明細書を Excel データのまま下記メールアドレスへ送信すること。個人参加申込書は所属団体で取りまとめ、下記申込先まで郵送すること。振込締切日は2020年12月17日（木）厳守。

申込先：愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-21
TEL 052-433-9910 FAX 052-433-9911 E-mail: taikai@aichi-jbc.com

※ 注 意 事 項 ※

- 1) 納入された施設使用料は、振込締切日以降、返金しない。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- 2) 参加選手は、必ず保護者の承諾を得て、また健康であることを確認の上、申し込むこと。
- 3) 代表選手は、各連盟で「スポーツ安全保険」に加入すること。
- 4) 各連盟とも、中学生としてふさわしい態度をとれる選手を選考し、また、その指導と監督ができる引率責任者（監督）をつけること。
- 5) ユニフォームは、連盟制定のもの、学校制定のもの、全日本ユースナショナルチーム制定のもの、ジュニアジャパン制定のもの、各連盟のジュニア用のものいずれでも良いが、学校名が入ったユニフォームを着用のこと。なお、学校名はわかりやすく明示すること。（布地に学校名を入れて縫い付けるか、貼り付けてもよい）
- 6) 大会使用ボールの登録は、JBCホームページより事前に登録用紙をダウンロードして必要事項を記入並びに1枚持参の上、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する。また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- 7) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- 8) 原則、当日ボール検査は行わない。事前に検査を受けボール検査合格証を持参すること。
- 9) 競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とする。
- 10) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- 11) JBCの定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。参加にあたり、選手は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないので注意すること。
- 12) 会場にボールバック等を送る場合は1月7日午後以降の到着で送ること。
会場からボールバック等を送る場合はヤマト運輸の着払いとなるので1個の重量が25Kg以内しか扱うことができない。（トリプルバックに小物等を入れたものは不可）
- 13) 大会関係者・参加選手・監督・引率者等にIDカードを発行する。IDカードの無い者は競技フロアに入ることはできない。

- 14) 大会関係者・参加選手・監督・引率者でスマートフォンを持っている人は事前に厚生労働省のホームページより新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) をインストールしておくこと。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

※ドーピング検査について※

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。
親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。